



松山市教育研究大会について

11月10日（金）に松山市教育研究大会が行われました。これは、市内全体で取り組む教職員の研修活動です。今回、潮見小学校は「特別活動」の研究に取り組んでいる学校として、1年生・4年生・6年生の学級活動の授業を公開しました。100名弱の来校者があり、各学級で潮見小以外の教職員が30名程度参観しました。その後、公開した授業を基にして話し合いもたれ、成果や課題について検討しました。



1年1組は「バランスのよいしょくじ」という題材で、学級担任と栄養教諭がチームを組んで指導にあたりました。この日の給食の写真を見ながら、課題を見出し、今後、自分たちがどのように給食をとっていけばよいか、目標を立てました。1年生なので、栄養素などの難しい部分は、おおまかにとらえたのでよいのですが、食育タイムなどで身に付いていることも多かったようです。保護者の方には、子どもたちに向けて手紙を書いていただき、それが今後の意欲付けに大いに役立ちました。ありがとうございました。



4年3組は「4の3オリンピックをしよう」という議題で、子どもたちが話し合いをしました。「自分がしたいこと」ではなく「みんなが楽しめて誰とでも仲良くなれるオリンピックにしたい」「自分たちの力で協力してオリジナルのオリンピックをつくりたい」という「提案理由」に沿って話し合いを進めることがポイントでした。さすが4年生。そのあたりは十分理解した上で、どんなことをしたら楽しめるか、こういった工夫が考えられるかという視点で話し合うことができました。



6年2組は「家庭学習の充実」という題材で、学級活動を行いました。どちらかと言えば、漫然と家庭学習に取り組んでいた6年生。そこから脱却するために、家庭学習で身に付くと思われる力を考えながら、今後どのように学習に取り組むとよいか、目標を立てました。鴨川中学校の先輩のインタビュー動画を見ることで、家庭学習の大切さを身近に感じることもできました。



潮見小学校では、令和3年度から特別活動の研究に取り組んできました。実質2年半の取組でしたが、これまでの積み重ねと学校全体のチーム力が見える授業だったと、来校者から高い評価を受けました。

特別活動は、子どもたちが主体となって取り組むことが比較容易な学習です。今後も、これまでの研究の蓄積を生かしながら、教育活動に取り組んでいきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。